

学位論文審査の要旨

	<p style="text-align: center;">菌部幸枝</p> <p>【ライフサイエンス専攻 平成22年度生、 10月入学者】</p>	要 旨
<p style="text-align: center;">学位申請者</p>		<p>わが国では諸外国に比べると、科学への興味・関心や科学の楽しさを感じている生徒の割合が著しく低く、現在大きな問題となっている。本論文では、理科の授業に科学史や科学者の人物像を取り入れることで、この問題に対応した。</p>
<p style="text-align: center;">論文題目</p>	<p style="text-align: center;">中学校理科教育の改善を目指した実践的研究 —科学への興味・関心の醸成と定着の ために—</p>	<p>第1章では、「科学者ダーウィンの生涯」を紹介する中学理科授業を新たに組み立て、その効果を調査した。その結果、授業そのものに対する興味・関心や、科学者に対する興味・関心を高める効果があることが確かめられた。第2章では、調査項目をさらに検討した上で、中学3年生の生物単元に3人の科学者人物紹介を組み入れ、単元全体でその効果があったかどうかを検討した。その結果、科学への関心が低いグループでは、科学への関心を高める効果があった。一方、科学への関心が高いグループでは、科学者への関心を高める効果があった。また、両グループに対して科学者の話や伝記への関心を高める効果があった。第3章では研究者による特別授業、生徒自身による科学者紹介、実験と組み合わせた教員による科学者人物紹介授業を考案・実践した。その効果を質的に比較したところ、授業への興味・関心が高まったことが示された。第4章では、生徒自身による科学者人物紹介の効果をより詳細に調査した。その結果、科学、科学技術の進歩・発展、科学者、科学者の話や伝記という4つの興味・関心を高める効果が発表グループだけでなく聴衆グループでも認められた。</p>
<p style="text-align: center;">審査委員</p>	<p style="text-align: center;">(主査) 教授 千葉和義</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 松浦悦子</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 近藤和雄</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 村田容常</p>	
	<p style="text-align: center;">准教授 富士原紀絵</p>	
<p style="text-align: center;">インターネット 公表</p>	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 (可)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む イ. 著作権や個人情報に係る制約がある ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、 もしくは予定されている オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	<p>以上まとめると、本論文では、科学者人物紹介が中学生の科学への興味・関心と、授業そのものへの意欲も高めることを明らかにして、今後の理科教育改善への方策を提案することに成功した。さらにこれらの成果の一部は、査読つきの学術誌に掲載された。</p> <p>審査委員会は、平成26年3月7日、申請者の学位論文公開発表会を開催した後、引き続き最終試験を行った。</p> <p>公開発表では、申請者は、学位論文中の第1章から第4章の資料に基づき、実践的な理科教育における科学史や科学者の人物像を授業に組み込む効果について、発表を行った。発表は、簡潔であり、理解しやすく、それ以前の審査委員の指摘に対しても的確に対応したものであった。引き続き質疑応答においても、申請者の応答は適切であり、本研究を主体的に展開してきたと認められた。</p> <p>以上の結果から、本審査委員会は、申請者菌部幸枝氏が最終試験に合格し、本研究科の学位、博士(学術)、Ph. D. in Science Educationに値するものと判断した。</p>